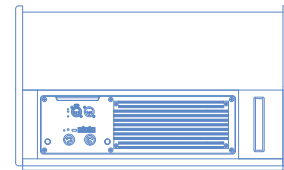
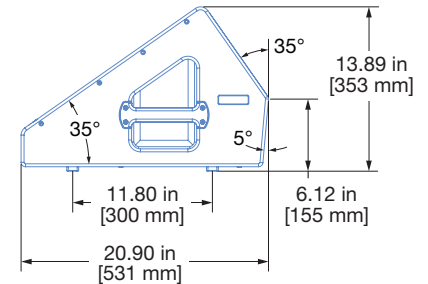
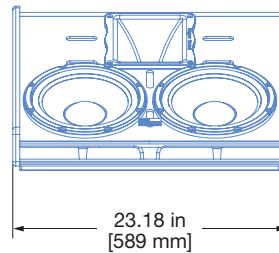


MFJ-210 薄型ハイパワーステージモニター



MJF-210は、高出力でも低域に余裕があり、明瞭度の高い音声を忠実に再現する薄型ハイパワーステージモニターです。セルフパワー型のMJF-210は、過酷なツアーやステージでも使用に耐えるだけでなく、小型軽量で、外部アンプを必要とする同種のモニターに比べてトラックのスペースを取らないという、今日のツアーアプリケーションに必要な条件を満たしています。

MJF-210の位相補正された55Hz～18kHzの周波数帯域は、ボーカルや楽器の音を低歪みで正確に再現し、信号の色付けもありません。MJF-210は、フラットな位相特性と周波数特性、優れたインパルス特性を持ち、従来のステージモニターを凌駕する音響性能を実現しています。また、セルフパワー方式によるシンプルなセットアップと操作性も備えています。

MJF-210は、耐久性に優れたベント式エンクロージャーに、2つのハイパワーでロングエクスカージョンの10インチ低周波ドライバーと、水平水平50° × 垂直70° の定指向性ホーンに結合された4インチダイヤフラムのコンプレッションドライバーを搭載しています。薄型のキャビネット全面は、ステージから35° 傾斜しており、演奏者にとって最適なモニタリング環境を提供するとともに、ホーンの均一で広い垂直指向性の範囲内に留まりながら、ステージ奥や手前への自由な移動を可能にします。

ドライバーには、3チャンネルのクラスDアンプを搭載しています。インテリジェントAC電源は、自動電圧選択、EMIフィルタリング、ソフトカレントターンオン、サージサプレッションなどの機能を備えています。

オプションのRMS™リモートモニタリングシステムモジュールは、Mac®またはWindows®ベースのコンピューターからスピーカーのパラメータを総合的にモニタリングすることができます。オプションのXLR 5ピンコネクタは、RMSとバランスオーディオの両方を伝送するコンポジットケーブルの使用に対応しています。

MJF-210のキャビネットは、高級感のあるカンバ材の合板を使用しており、質感のあるブラック塗装が施されています。また、底面には振動による位置の変化を防ぐ保護用のラバーストリップが付いています。ドライバーを保護するために、スチール製のグリルには、音響効果の高いブラックメッシュが施されています。

特徴と利点

- セルフパワード方式のため、セットアップや操作が簡単
- 小型軽量で、外付けのアンプがないため、トラックのスペースを取らない
- 薄型キャビネットは舞台上で視界を遮らない
- 広い垂直方向のカバレッジにより、ステージ奥や手前への自由な移動が可能
- 高いピークパワーにより、優れたトランジェントレスポンスを実現
- フラットな周波数特性と位相特性により、フィードバック前に高いゲインを実現

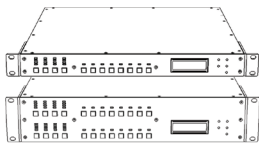
アプリケーション

- メインボーカルモニター
- 高出力楽器モニター

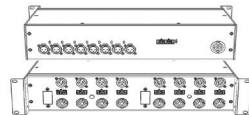
アクセサリおよび関連製品

Galileo GALAXY Network Platform: Galileo GALAXYネットワークプラットフォームは、複数のゾーンを持つスピーカーシステムに最先端のオーディオコントロール技術を提供します。卓越した音響性能を持ち、あらゆるアプリケーションに対応する、補正ルームイコライゼーションと微調整のためのパワフルなツールセットを提供します。

MDM-832 Distribution Module: MDM-832は、最大8チャンネルのAC電源、バランスオーディオ、RMS信号をスピーカに送ることができる便利なユニットです。



Galileo GALAXY Network Platform



MDM-832 Distribution Module

仕様

音響 ¹	
動作周波数範囲 ²	55 Hz – 18 kHz
周波数特性 ³	60 Hz – 16 kHz ±4 dB
位相応答	200 Hz – 16 kHz ±45°
リニアピークSPL ⁴	134 dB クレストファクター >17 dB (M-ノイズ)、132.5 dB (ピンクノイズ)、132.5 dB (B-ノイズ)
指向角度	
水平指向角度	50°
垂直指向角度	70°
トランスデューサー	
低域	10インチハイパワーコーンドライバ2基、公称インピーダンス4Ω
高域	4インチダイアフラムのコンプレッションドライバ1基、公称インピーダンス8Ω
オーディオ入力	
タイプ	差動式、電子バランスタイプ
最大コモンモード範囲	±5 V DC, 過渡 圧保護のためにアース接続
コネクタ	XLR 3ピンメス入力、オスのループ出力。オプションのXLR 5ピンコネクタは、バランスオーディオとRMS信号の両方に対応。
入力インピーダンス	ピン2–3間に10kΩの差動
配線 ⁵	ピン1: シャーシ/アース間 1 kΩ, 1000 pF, 15 Vクランプネットワークにより、オーディオ周波数で仮想的なグラウンドリフトを実現 ピン2: オーディオ信号+ ピン3: オーディオ信号 – ピン4: RMS (極性不問) ピン5: RMS (極性不問) ケース: アースグランド・シャーシ
公称入力感度	0 dBV (1.0 V rms) 連続は、通常ノイズや音楽のリミッター開始ポイント
入力レベル	スピーカの動作帯域幅にわたって最大ピークSPLを生成するには、+20 dBV (10 Vrms) を600Ωで生成できるオーディオソースが必要です。
アンプ	
タイプ	3チャンネル、クラスD
総出力電力 ⁶	1950 W (ピーク)
THD, IM, TIM	< 0.02%
冷却	対流
AC電源	
コネクタ	powerCON 20入力 (ループ出力付き)
自動電圧選択	90–265 V AC
安全定格電圧範囲	100–240 V AC, 50–60 Hz
ターンオンとターンオフ	90V ターンオン、ターンオフ無し なし、AC265V以上では内部ヒューズで保護
消費電流	
アイドル電流	0.26 A rms (115 V AC); 0.25 A rms (230 V AC); 0.28 A rms (100 V AC)
連続消費流(>10 sec)	1.8 A rms (115 V AC); 1.1 A rms (230 V AC); 2.6 A rms (100 V AC)
バースト電流 (<1 sec) ⁷	3.5 A rms (115 V AC), 1.8 A rms (230 V AC), 4.2 A rms (100 V AC)
瞬間最大電流	8.1 A peak (115 V AC), 3.9 A peak (230 V AC), 9.3 A peak (100 V AC)
インラッシュ電流	< 20 A (ピーク)

仕様

RMSネットワーク(オプション)	
	アンプのすべての動作パラメータをシステムオペレータのホストコンピュータに報告する2芯のツイストペアネットワーク。
外観	
サイズ	幅:589 mm x 高さ: 353 mm x 奥行き: 531 mm
重量	30.4 kg
エンクロージャ	カンバ材積層合板を使用したブラック仕上げ、35° のフロントアングル
保護グリル	パウダーコーティング、ブラックメッシュ付き六角打ち抜きスチールグリル

注釈

1.

カバレッジとSPLに関するスピーカーシステムの予測は、Meyer SoundのMAPPシステムデザインツールで入手できます。
2.

推奨される最大動作周波数範囲。応答は負荷条件や室内音響に依存します。
3.

典型的な境界負荷で軸上1mを測定したものです。
4.

Linear Peak SPL

リニアピークSPLは、典型的な境界線荷重で軸上1mで測定されます。スピーカーのSPL圧縮は、制限開始時、2時間の継続時間、50℃の周囲温度でのM-ノイズで測定され、<2dBです。

M-noise M-ノイズは、スピーカーの音楽パフォーマンスをよりよく測定するために、Meyer Soundによって開発された全帯域（10Hz～22.5kHz）のテスト信号です。オクターブバンドで一定の瞬間的なピークレベル、周波数とともに増加するクレストファクター、全帯域のピーク/RMS比が18dBであることが特徴です。なお、クレストファクターに関する大なり小なりの記号(>)の存在は、EQやバウンダリの負荷によって高くなる可能性があることを示しています。

ピンクノイズは全帯域のテスト信号で、Peak/RMS比は12.5dBです。

B-ノイズは、最も一般的な入カスペクトルを再生したときのシステムの動作を測定値に反映させ、ピンクノイズに対してヘッドルームが残っていることを確認するために使用するMeyer Soundのテスト信号です。
5.

4番ピンと5番ピン(RMS)は、バランスオーディオとRMS信号の両方に対応したXLR5ピンコネクタにのみ付属しています。
6.

ピークパワーは、公称負荷インピーダンスに対してアンプが生成するクリップされていない最大ピーク電圧に基づきます。
7.

AC電源ケーブルは、バースト電流実効値の条件下で、ケーブルの伝送損失によりスピーカーの電圧が指定された動作範囲を下回らないように、十分なゲージを使用してください。

設計仕様

スピーカーはセルフパワー型のステージモニターで、トランスデューサーには2つの10インチ・コーン・ドライバーと1つの4インチ・ダイアフラム・コンプレッションドライバーが50° × 70° のホーンに搭載されています。スピーカーは、内部処理エレクトロニクスと3チャンネルアンプを内蔵しており、各ドライバーに1チャンネルが割り当てられています。処理機能には、イコライズ、位相補正、信号分割、低周波部と高周波部の保護が含まれます。アンプチャンネルはDクラスとし、ディストーション(THD、IM、TIM)は0.02%以下です。

典型的な製造ユニットの性能仕様は、1/3オクターブの分解能で測定され、以下の通りです。動作周波数範囲、55Hz～18kHz、位相応答、200Hz～16kHz ± 45°、線形ピークSPLは134dB、波高因子>17db、Mノイズ、軸上1m、典型的な境界負荷で測定します。カバレッジは水平50° × 垂直70° です。

音声入力は、10kΩのインピーダンスを持つ電子バランス型で、公称0dBV(1.0V rms)の信号を受け付けます。音声コネクタは、バランス音声に対応したXLR3ピン(メス、オス)、またはバランス音声とRMSの両方に対応したXLR5ピンを使用します。

内蔵電源は、自動電圧選択、EMIフィルタリング、ソフトカレントターンオン、サージ抑制を行います。電源要件は、公称AC100V、110V、230V、50-60Hzのライン電流です。ULおよびCEの動作電圧範囲はAC100-240V、50-60Hzであること。最大瞬時ピーク電流は、AC115Vで8.1Aピーク、AC230Vで3.9Aピーク、AC100Vで9.3Aピークです。ソフトターンオン時の突入電流は、AC115Vで20Aピークを超えません。AC電源コネクタはループ出力付きのpowerCON 20を使用します。ラウドスピーカーには、オプションでRMSリモート・モニタリング・システム・モジュールを搭載できます。

スピーカー部品は、通気性のあるV字型のエンクロージャに取り付けられており、このエンクロージャは高級マルチプライカンバ材で構成されており、わずかにテクスチャー加工されたブラック仕上げとなっています。保護グリルは、黒のメッシュスクリーンを備えた六角形の型押しスチール製です。寸法は、幅:589 mm x 高さ:353 mm x 奥行き:531 mmです。重量は、30.4kgです。エンクロージャの正面角度は35° です。

スピーカーは、Meyer Sound MJF-210です。

Meyer Sound Laboratories, Inc.
2832 San Pablo Avenue
Berkeley, CA 94702

+1 510 486.1166
meyersound.com/contact
meyersound.com

MJF-210
Copyright © 2026. All Rights Reserved.



株式会社アートウイズ
〒134-0003 東京都江戸川区春江町5-11-2
Tel : 03-5667-9682